

議会だより



勉強、頑張ります！(4月7日 大石田北小学校入学式)
P17に関連記事

主な記事

大石田町ホームページ
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



議会の
映像配信は
こちらから

まちの活性化へ！ 模擬議会実施へ	2
魅力あるまちづくりに向けて 町商工会青年部との意見交換会 ..	3
令和5年度予算	4
補正予算、条例審議	8
どうする？大石田 一般質問6人	10
大石田を彩ります！	18

◆ 第1回定例会
(3月2日～13日)

● 第1回臨時会
(1月27日)

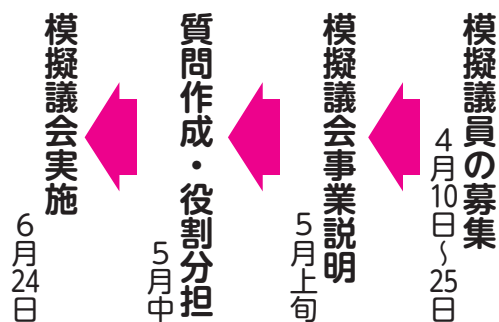
● 第2回臨時会
(3月28日)

まちの活性化へ！

模擬議会実施へ

現在、町議会議員の定数は10名、これまで過去3回の議員選挙は無投票でした。議員のなり手不足の原因のひとつとして、「議会や議員って何？」という点があります。今回、大石田町議会では、町民のみなさんに「議会ってこんなところだよ」ということを知ってもらうために、模擬議会を開催する運びとなりました。特に女性や若者から参加いただき、今の町議会にはない新たな視点からの意見に期待します。

実施までのスケジュール



こんな方を募集します！

- 自分の知識や経験を活かしてまちづくりに貢献したい
- 町政に自分の意見を反映させたい
- 議会や議員活動に興味がある
- スキルアップを図りたい

【お問い合わせは】
大石田町議会事務局
TEL 0237-35-2111
(内線311)
FAX 0237-35-2118



魅力あるまちづくりに向けて

町商工会青年部との意見交換会



令和5年2月28日、虹のプラザ小会議室で商工会青年部との意見交換会を実施した。

当日は、部員9名と有意義な意見交換ができた。

雪の問題、空き家問題、子育て問題等、地元で生きていく為に課題解決が必要だと沢山の意見をいただいた。

今後も定期的に商工会青年部と情報交換していきたい。

町活性化の切り込み隊長として商工会青年部の益々の活躍を期待する。

【記 議会運営委員長 今野雅信】

意見がたくさんできました



「大石田で働く若いみんなの声を聞かせてほしい。」と今野議員から声をかけていただき町議会と商工会青年部の懇談会を開催する運びとなった。

緊張を抱えながらの初開催となったが、各々が抱えている事業所、町、地域、家族についての悩みを語り、その一つ一つに議員の方々から現在考えられている対策と意見をいただいた。克雪対策、町の人口減少に伴う新入部員の減少、町内での事業承継、就職、子育てなど簡単に解決できない問題が少なくなかったが、それでもこの機会に期待を込めて、お互いの思いを交換させていただいた。

今後の町全体の生活環境改善を議員の方々にも望みながらも、私たち町民も自ら動き改善の糸口を探していかなければ、望んだ結果は得られないと感じた。今回の意見交換会開催を約束し、今回挙げられた問題の対策結果と、そこからの今後についての話し合いができれば、良い環境づくりに向けて動いていけると思う。

【商工会青年部

部長 芦野雅俊】

克雪や事業承継などを意見交換

ゼロへ

000万円



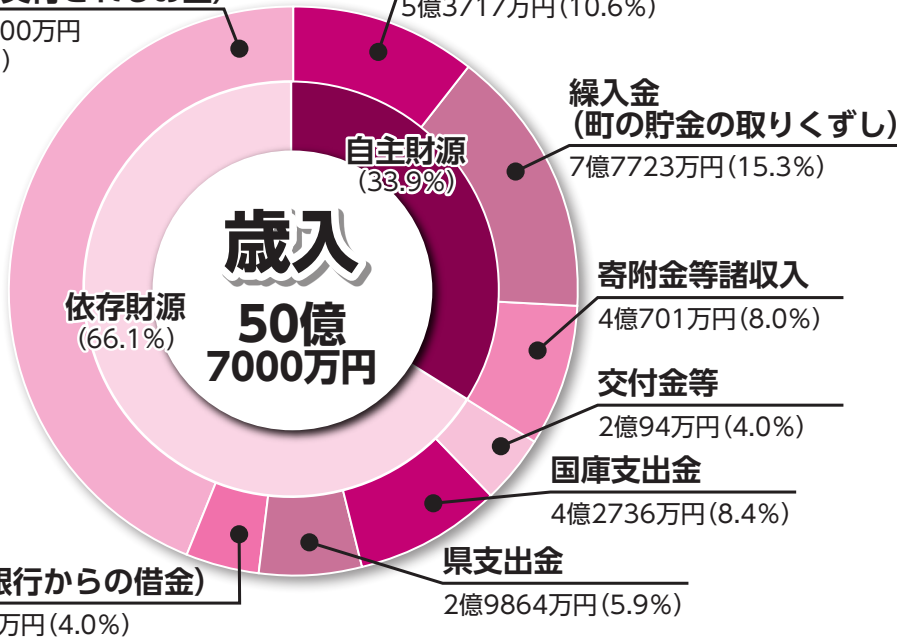
一般会計予算 (前年度比 2千万円増額)

第1回 定例会 3/2~3/13

一般会計内訳

地方交付税
(町の財政状況に応じ
国から交付されるお金)
22億2000万円
(43.8%)

町税
(町民のみなさんからいただく税金)
5億3717万円(10.6%)



町債
(国や銀行からの借金)
2億165万円(4.0%)

自主財源
(33.9%)

繰入金
(町の貯金の取りくずし)
7億7723万円(15.3%)

寄附金等諸収入
4億701万円(8.0%)

交付金等
2億94万円(4.0%)

国庫支出金
4億2736万円(8.4%)

県支出金
2億9864万円(5.9%)

その他
1814万円(0.4%)

議会の運営に
7322万円(1.4%)

借金の返済に
6億7500万円(13.3%)

行政運営に
12億1528万円
(24.0%)

学校・生涯学習・スポーツに
5億4290万円(10.7%)

安全な町に
2億6372万円(5.2%)

道路・住宅・除雪に
4億7206万円(9.3%)

商工業の振興に
5460万円(1.1%)

農林業の振興に
2億2244万円(4.4%)

歳出 50億 7000万円

福祉に
11億3140万円
(22.3%)

健康づくり・きれいな町に
4億124万円(7.9%)

第1回定例会が、3月2日から3月13日まで、12日間の会期で開催され、6人の議員が一般質問を行いました。各会計予算、補正予算、条例の制定、指定管理者の指定、人事案件などを原案どおり可決しました。令和5年度予算は、予算特別委員会に付託、慎重に審議した結果、全予算を全員賛成で原案どおり可決しました。

各会計補正予算
5件

各会計予算
6件

条例制定
6件

指定管理者の指定
2件

人事案件・その他
1件

議員発議
2件

**以上22件
原案どおり
可決**

令和5年度予算

コロナ 50.7億

予算の審議は、予算特別委員会を設置し詳細にわたり審査を実施。その結果、一般会計及び5特別会計の全議案について、全員賛成で可決しました。
「心豊かに幸せ感じるまちづくり」の実現を目指し、「町民目線のまちづくり」を信条として町民と一緒に力を合わせたまちづくりを進める予算となっています。

令和5年度各会計

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康 保 険	次 年 子 簡 易 水 道	農 業 集 落 排 水 事 業	介 護 保 険	後 期 高 齢 者 医 療
予 算 額	50億 7000万円	19億 3870万円	7億 7930万円	1100万円	8540万円	9億 6000万円	1億 300万円
前年度比	2000万円	▲405万円	▲1070万円	315万円	770万円	▲170万円	▲250万円

アフターコロナ、新たなチャレンジ! (主な注目事業)

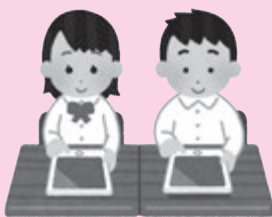


学校給食費半額 事業

給食費を約50%減額し、子育て世代の経済的負担の軽減を図る。
(予算額8286万円)

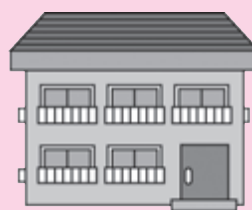
新製品、新技術の開発や新分野への進出に取り組み町内の中小企業者等を支援する。
(予算額250万円)

新事業チャレンジ 応援事業



ICT関連の専門家を派遣することにより、各学校のICT化を進める。
(予算額339万円)

ICT支援員派遣 事業



移住定住対策と最上川緊急治水対策プロジェクト関連事業に対応するため、集合住宅の整備に向けた基本設計及び用地購入を行う。
(予算額1895万円)

集合住宅整備事業

激減、危機的状況!

予算特別委員会総括審査

一般会計

【全員賛成】

市町村振興共同事業

二藤部冬馬 委員

市町村をまたぐ事業に対しての助成金、あと10万円申請可能だが、追加申請の予定は。まちづくり推進課長 現在、広域で新たな取り組みはないため、申請予定はない。



定住促進事業助成金

小玉 勇 委員

要綱を改正すれば治水対策で移転する方にも適用になるのでは。まちづくり推進課長 公共事業の補償金による移転に、更に税金の上乗せはできないと判断している。

出産祝金

岡崎 英和 委員

25名を見込んだ予算だが、3月時点で、母子手帳の発行は3人分しかない。子育て支援へのアピールが必要では。町長 町外から来ていただくにはPRしていかなければならない。勉強しながら進めていく。

町営墓地

二藤部冬馬 委員

維持管理の将来的な見通しは。町長 墓じまい等で管理が難しくなっていると思うが、時代に合わせて進めていきたい。



今年も多くのご寄付、お待ちしております。

ふるさと納税

岡崎 英和 委員

「三越伊勢丹ふるさと納税」が新たに加わった。客層の違いマーケティングへの切り込みに期待しかない。町長の考えは。町長 大石田町を知ってもらえるのは良いこと。三越に限らずPRを進めていく。

結婚祝品

二藤部冬馬 委員

17組分の予算になっているが、令和4年度の婚姻届出件数は4件。祝い品が余った場合は払い戻し精算か、次年度も越しか。町民税務課長 その都度、購入しているため、返品ということはない。

岡崎 英和 委員

結婚祝品として地域振興公社の金券、商品券なども検討すべきでは。町長 研究しながら、使い勝手の良いものにしていく。

村形 昌一 委員

結婚件数が非常に少ない。結婚を希望する方に対して、マッチングや仲人などの支援をしていく考えは。町長 行政として直接関わるのは難しいが、地域での会合も含めて応援が可能であればしていきたい。

結婚・出生数

出産・子育て応援金

村形 昌一 委員

期待を込めて20人分で予算計上したと聞いたが、加速する少子化への対策は。

町長 結婚の数が少ないなどに要因があると思っている。様々な支援策を組み込んでいきたい。

入湯税

齋藤 公一 委員

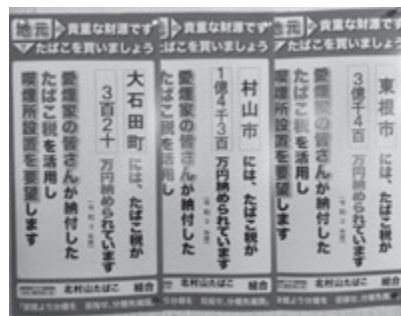
減免しているが、徴収した上で温泉施設に町として支援していくべきでは。

町長 入湯税減免が良いのか、指定管理料を支払うのが良いのか相談しながら考えていく。



今野 雅信 委員長
 予算特別委員会において新年度予算の審査を行い、一般会計及び各特別会計とも原案のとおり可決すべきものであると大山議長に対して報告しました。

予算特別委員会総括審査



圧倒的に少ない町のたばこ税収

たばこ税

齋藤 公一 委員

税収が町に入るような取り組みをすべきでは。

町長 町内にコンビニがないことの影響が大きい。推進を行政で行うのは難しい。

駅都市施設

芳賀 清 委員

インバウンドが回復してきている。賑わいの対策施設等検討できないか。

町長 町の様々な団体と一緒に検討していくのが大事だと考えている。

特別支援教育補助員

熊谷富太郎 委員

ヤングケアラーの補助も含まれるのか。

教育長 含まれないが、必要であれば保健福祉課とも連携しなければならない。

桜堤

芳賀 清 委員

町の桜の名所が荒れ放題。年次計画等で整備していく必要があるのでは。

町長 道路の街路樹としては評判が悪い。様々な事業でやる部分から進めたい。

生涯学習講座

岡崎 英和 委員

阿部一二三選手のような、人口から習う機会を考慮すれば、入場料を値上げしても良いのでは。

教育長 町税からの予算であり、多くの町民が参加しやすい価格を設定している。また、町外や県外からも大石田に来てもらい、交流人口の拡大にもつながってきたと捉えている。

村形 昌一 委員

大学生や社会人などの柔道選手の招集の考えは。
 教育長 三市一町の柔道連盟、県の柔道関係にも連絡して多く来てもらえるようにしたい。



桜は町の花！もっと活用を

さと納税に期待！

一般会計

【全員賛成】

企業版ふるさと納税

今野 雅信 議員

今年度から取り組んだが、その成果は。

町長 新たな財源確保として導入した。企業にとっても税制で優遇されるので、周知を進めて充実していきたい。

あったまりランドの運営

岡崎 英和 議員

燃料費等高騰の緊急支援をしているが、値上がりは今後も続く見込みだ。どう運営するのか。

副町長（地域振興公社代表取締役） 温泉維持費の増加は続くので厳しい状況だが、町からの支援も限りがあるので経営改善に努めてサービスの向上を頑張っていく。

コロナ禍の経済対策

今野 雅信 議員

「大石田エール券」発行はコロナ禍で好評な事業だが、今後はどうする。町長 今後、一般財源で実施するのは決めていない。



新しいポスターで、前進！

ふるさと応援基金繰入

岡崎 英和 議員

ふるさと応援寄附金が年々好調に推移しているが、町長の所見は。

町長 町の振興発展や観光面で大いにプラスでありがたい限りだ。返礼品の開発などできつつあり進めていきたい。

消防団員の報酬

村形 昌一 議員

報酬の増額は、国の交付税として確認できるのか。

総務課長 普通交付税の中に、団員の報酬増額分として項目別に明細があるので確認できる。

子育て臨時特別支援事業

小玉 勇 議員

補助金が減額しているが、その理由は。

政策推進主幹 当初は、非課税世帯にプラスして家計急変世帯も計上したが、家計急変世帯がなかったため、減額した。

在宅保育支援

小玉 勇 議員

保育園への不信感から在宅保育を選択することはないのか。

保健福祉課長 在宅保育支援は、産休や育休、専業主婦等で自宅で保育している方を対象としている。



楽しい、楽しい保育園（節分のようなす ふたば横山保育園）

第1回 定例会

3 / 2 ~ 3 / 13

補正予算・条例等

企業版ふる

修学旅行応援事業

今野 雅信 議員

今後小学校統合に向けて、3校
合同の修学旅行はあるのか。
教育長 統合に向けて、各
部会で協議しているが、今年
度に合同の修学旅行を計画し
ている。

ヘルプセンター委託料

小玉 勇 議員

ヘルプセンター大石田運營業
務委託料の取り決めは。
保健福祉課長 生活管理支
援員派遣実施要綱に基づき
委託している。コロナ禍で
収入が減った分への補てん
になります。

スポーツクラブ自立支援事業

岡崎 英和 議員

これまでであった国からの
助成が最後になるが、今後
どう推進していくのか。
教育長 国支援のもと、各
クラブ会員増に取り組ん
できた。今は中学校部活動
の地域移行など課題もあり
、総合的な視点で取り組
んでいく。

民間の保育士処遇改善

村形 昌一 議員

保育士の処遇改善についての考
え方は。
町長 官民との差を埋める流
れだが、国や県の動向を見
ながら進めていく。

処遇が悪く退職することがない
よう寄り添うべき。
町長 継続して働いてもらえ
るように進める。

個人情報保護審査会条例

【全員賛成】

小玉 勇 議員

審査会委員5人は、どうい
う基準で選ぶのか。
総務課長 司法書士等、学
識経験を有する方を選定
する予定だ。



修学旅行は一生の思い出 (大石田中学校修学旅行 羽黒山)



楽しいモルック (総合型スポーツクラブ)



6人の議員が 一般質問

一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。

質問内容は、議案とは関係なく自由に決めます。

質問席は、対面式になっており、答弁者に向かい合い質問します。

議員1人当たりの持ち時間は1時間です。

くまがい とみ たらう
熊谷 富太郎 議員 …………… 11ページ

- ◆大橋架け替えについて
- ◆人口増加対策に向けた新たな移住施策を

むらかた しょういち
村形 昌一 議員 …………… 12ページ

- ◆治水対策事業の進捗状況と今後のタイムスケジュールは
- ◆統合小学校は現大石田小学校150年の歴史を引き継ぐべきでは
- ◆光熱費や資材価格高騰の中、町の農業をどう守っていくのか

こだま いさむ
小玉 勇 議員 …………… 13ページ

- ◆治水対策事業を踏まえた町づくりの今は
- ◆治水対策事業に合わせた迅速な大橋架け替え問題の解決を

こんの まさのぶ
今野 雅信 議員 …………… 14ページ

- ◆交流人口、関係人口の拡充を
- ◆アフターコロナ、町の対応は

にとうべ とうま
二藤部 冬馬 議員 …………… 15ページ

- ◆「大橋架け替え」公聴会、懇話会後の対応は
- ◆治水対策事業の経過を全町民に周知すべき
- ◆「旧統一教会問題」の被害事例は
- ◆「パートナーシップ制度」を導入すべき

おおやま じろう
大山 二郎 議員 …………… 16ページ

- ◆0～2歳児の5・6階層保育料無償化を早期に実現すべき
- ◆大石田保育園の行く末を問う

どっつすずる？・大石田

一般質問は、以下の画像を読み取ることで、インターネットにより随時ご覧いただくことができます。



3月6日(2名)
熊谷議員、村形議員



3月7日(4名)
小玉議員、今野議員
二藤部議員、大山議員



大橋架け替えの方針は

くまがい とみたろう
熊谷 富太郎 議員

いただいた意見を参考にして
方針を固めていく

町長

大橋架け替え

住民公聴会では様々な意見が出たが。

町長 これまで国土交通省では河川改修事業説明会、町では大橋架け替えの住民公聴会及び懇話会を開催し、町民からご意見をいただいている。

「大橋架け替え」については、国や町の方針とは別の発言をされる方もいる。

今後の町の対応は。

町長 現在、より広くご意見をいただくため、プロジェクトについての「意見箱」を設置している。頂戴したご意見を参考にし、将来のまちづくりの方針を明らかにしながら、大橋の架け替え方針を固めていく。

景観、町並みの保存に主眼をおいた提案を国に要望しては。

町長 今回の治水対策事業は、町民の生命・財産を守り、安全・安心な生活を確保することが最優先である。



12月24日 第1回住民公聴会（虹のプラザ）

一方で多くの文人墨客が来町し、舟運文化が色濃く残されている歴史と文化は、町の大切な財産である。

景観や町並み等にも配慮したプロジェクトになるよう国には要望していく。

人口増加対策

今後の取組みは。

町長 令和5年度は、移住相談会、新規就農者を募集するための委託事業、新築や中古住宅購入に対して支援する定住促進助成金事業及び結婚新生活支援事業等に取り組んでいく。

国内短期移住（お試し移住）等を実施しては。

町長 現状の取組みでは十分ではない。提案のあった事業も含めて研究、考察を重ね、移住定住につなげていく。



大石田河岸絵図



治水対策事業の町外転出を防げ

むらかた しょういち
村形 昌一 議員

移転対象者の声を聞きながら進める

町長

治水対策の進捗

経費は黒滝橋を参考にすると、電気料で22万円、除排雪で90万円が見込まれる。

12月定例会後の状況は。

町長 12月24日と2月4日に大石田地区と横山地区で公聴会を開催した。また、懇話会を二度開催した。

進捗状況は、お知らせ版で全戸配布し、ホームページにも掲載している。

町民アンケートの状況は。

町長 引き堤工事にかかる地権者の意向は確認した。今後の実施は考えていない。

架け替え後の橋は町道になると聞いた。県道との境界や維持経費は。

町長 国・県と協議中であり、詳細は決まっていない。

県道が町道になる経緯は。

建設課長 県は大橋をなるべく長く使い、使用できなくなれば撤去との考え方。どうしても大橋を失くせないとなれば町道として管理することになる。

町道の維持管理経費の増大が危惧されるが。

建設課長 どうしたら施設管理や移管がスムーズにいくか県と調整している。

町の方針はいつ決まる。

町長 意見が集約すれば決定としていきたい。



昭和5年完成の大橋、93歳になりました。

移転先の考えは。

町長 空き地や町有地を調査し、情報をより多く提供できるようにする。

統合小は新設校

創立記念日は現大石田小の150年の歴史を引き継ぐべきでは。

教育長 児童の心理面への影響や、南小、北小学区の住民感情を考えると、新設校とするのが最良の手段だと考えている。

新設校とした経緯は。

教育長 大石田学園づくり委員会、総合教育会議で協議し、基本方針を決定した。その後、パブリックコメントを経て基本構想・基本計画を確定し、新設と決定した。

せめて創立1年か150年かを熟議すべきでは。

教育長 部会で話をして今後予定される住民説明会に出したい。

農業支援の拡充を

光熱費や資材価格高騰の中、農業経営の状況は。

町長 ロシアのウクライナ軍事侵攻により資材・肥料価格が高騰し、農家の経営を直撃している。

町の農業をどう守るか。

町長 昨年は国・県の補助事業を活用したが、町単独では困難。動向を注視し、歩調を合わせて高騰対策に取り組みたい。



150年の歴史を絶やすな！（昭和2年頃の大石田小学校）



移転先は準備しているのか

こだま いさむ
小玉 勇 議員

町有地や空き地の情報を提供する

町長

移転先の確保は

5、6軒集団で移転できるのか。

町長 代替地を造成するためには、土地の選定、法的手続き等がある。工事期間や売買単価等を考慮すると、スケジュールとして間に合わない。

数軒まとまって移転したいとの申し入れがあると聞いたが。

町長 時間的な問題もあるが造成単価は一坪数万円になり、高額な土地になる。十分に話し合う必要がある。

移転する人たちに十分な土地はあるのか。

町長 町有地の活用を考えているが、この度、「公共事業用地」として「代替地登録制度」を設けた。

どのような利点があるのか。

町長 用地提供者から代替地の要望があった場合、速やかに対応し、公共事業が円滑に進むことを目的とする。税法上の優遇措置もある。



引き堤予定の横山上宿地内

町内に定住を促すための町独自の補助を。

まちづくり推進課長 国の補償金で移転する方に、町がさらに補助金を出すことは、公金を二重に交付することになるためできない。他の自治体でも同様と思われる。

新大橋は今の大橋の位置に

最上川流域で最も流される恐れのある大橋はすぐ撤去すべき。

町長 令和2年7月豪雨でも十分認識できている。

住民公聴会では大橋の架け替えは必要なしとの意見が多かったが。

町長 町民の利便性をなくさず、景観、歴史の重みを考えれば、橋を作っていくことが良いと考えている。町民とは今後も話し合っていく。

町民が思う「景観、歴史」とは何か。

町長 個々人の認識は違うが、大石田河岸絵図のような舟運文化で栄えた風景、齋藤茂吉や金山平三が好んだ風景などと考える。

町が分断されることのない、自慢できる立派な橋を作るべき。

町長 役場と虹のプラザに「意見箱」を設置している。

町民の意見を早急に取りまとめ、総合的に判断して国や県に働きかけていく。



第1回公聴会 横山地区総合センター



交流人口、関係人口の 拡充を

この
今野 雅信 議員

町活性化や経済効果を生むものに 力を入れる

町長

観光客を呼び込め

観光客やインバウンドのお客様に楽しんでもらうアクションを起こすべきでは。

町長 観光関係団体や地域振興公社と連携を図り、お客様に訪れて良かったと思っただけの施策を検討していく。

バス待合所は、吹雪の中心時間帯も待つような状態だったが、町の対応は。町長 バス運行会社とも協議している。バスチケットの発券等で対応できないか検討している。

観光案内HPの充実を。

町長 見やすく探しやすいHPにと考える。更新もこまめに対応していく。

大石田駅で実施する「地元のお土産」「山形・東北のお土産」臨時物販の出店者募集の状況は。

町長 物販、直売のスペースや保健所の対応など検討している。町商工会等とも連携して進める。

駅前広場の活用を。

町長 令和5年度に、駅前一帯を活用するための若者を中心とした検討会を立ち上げていく。



観光客をおもてなし

山形大学生の地域課題解決発表会にあった企画等を実施しては。

町長 できるものから進めていく。町だけでできない部分は団体等と連携し、実施できればと考える。

友好都市や災害協定都市等ともっと交流を。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していた。国、県の対応方針が緩和されたため、交流を再開していく。

民間や町民同士の繋がりが も大切だと考えるが。

町長 イベントなどへの出店やPR、交流する際の旅費の支給などを検討する。

交換留学や短期ホームステイ等、子どもたちの交流の活発化を。

町長 県の「山形家族まるごと移住体験モデル事業」等を活用し、受入れ体制を整備していきたい。

アフターコロナ

町施設の感染防止対応は。

町長 消毒機器や発熱感知器は当面設置する。国や県の方針を考慮し、町の感染症対策本部で検討しながら進める。

学校では新しい生活様式の中で子どもたちにより良い環境を整える必要があるのでは。

教育長 コロナ禍で学んだことを検証し、改善していく。

自己判断によるマスクの着脱で差別が起きない環境整備を。

教育長 一人ひとりをしっかり見て対応する。



マスクをとっての卒業式

一般質問

ぶじするのー大石田



治水対策、公聴会後の対応は

二藤部 冬馬 議員

意見を総合的に判断していく

町長

今後の考えは

治水対策に関する住民公聴会・懇話会が開催されたが、住民の意見を聞いて、今後の対応は。

町長 意見を総合的に判断して、方針を固めていきたい。

2月28日に示された代替案は。

建設課長 緊急時のみ車両が通れる「人道橋案」を示した。

4月以降、公聴会等を開催する考えは。

町長 必要と判断した場合は、令和5年度も開催していきたい。

町民への周知を

これまでの住民公聴会の資料や住民から出された意見が不透明。全町民が把握できるようにしては。

町長 2月27日にチラシを全戸配布し、HPにも掲載して、全町民に周知を図った。

今後も事業説明会や懇話会等の状況を、随時、広報誌やHPでお知らせして、全町民が把握できるように努めていく。



熱心に耳を傾ける町民（第2回公聴会）

旧統一教会問題

都市部だけではなく、地方にも浸透している問題だ。町内の被害状況・事例は。

町長 「消費生活相談窓口」では、相談もなく、被害事例も把握していない。

対応には専門的な知識が必要。間違った対応は、被害を拡大させる恐れもある。行政に相談があった場合、適切な対応はできる状況か。

総務課長 内容を聞いて、県の消費生活センターと連携を図るか、「法テラス」を紹介することになる。

町長 多様性を互いに認め合う社会を作ることが必要不可欠。当町でも、今後、研究を重ねていく。

町長 「消費生活相談窓口」では、相談もなく、被害事例も把握していない。

対応には専門的な知識が必要。間違った対応は、被害を拡大させる恐れもある。行政に相談があった場合、適切な対応はできる状況か。

総務課長 内容を聞いて、県の消費生活センターと連携を図るか、「法テラス」を紹介することになる。

パートナーシップ制度

自治体が独自にLGBT Qカップルに対して「結婚に相当する関係」とする証明書を発行し、さまざまなサービスや社会的配慮を受けやすくする

パートナーシップ制度

が全国的に広がりを見せている。多様な社会に対応すべく、当町でも導入すべきでは。

町長 多様性を互いに認め合う社会を作ることが必要不可欠。当町でも、今後、研究を重ねていく。

町長 多様性を互いに認め合う社会を作ることが必要不可欠。当町でも、今後、研究を重ねていく。

町長 多様性を互いに認め合う社会を作ることが必要不可欠。当町でも、今後、研究を重ねていく。

町長 多様性を互いに認め合う社会を作ることが必要不可欠。当町でも、今後、研究を重ねていく。

町長 多様性を互いに認め合う社会を作ることが必要不可欠。当町でも、今後、研究を重ねていく。

緊急治水対策プロジェクト 2月28日 発行

進捗状況についてお知らせします

令和2年9月に国、山形県及び県内各市町村が連携して「最上川流域治水協議会」を設置し、「令和2年度治水対策推進計画」を策定し、治水対策の推進を図る。その一環として「緊急治水対策プロジェクト」を実施している。その進捗状況についてお知らせします。

このプロジェクトは、治水対策の推進を図るため、治水対策の推進を図る。その一環として「緊急治水対策プロジェクト」を実施している。その進捗状況についてお知らせします。

大石田町

2月27日 全戸に配布しました。



0～2歳児の 保育料無償化を

おおやま
大石田 二郎
じろう
議員

早期の完全無償化に努力する

町長

保育料無償化

0～2歳児の5・6階層以外全て無償化になった。子育て世代の公平性と負担の格差是正の観点から早期に全て無償化を実現すべきでは。

町長 町では、県の交付金に上乘せし、3・4階層の保育料は無償化している。

5・6階層も町単独で半額助成し、保護者の負担軽減を行っている。

令和5年度は、村山地方7町のうち、西川と大石田を除く5町が、小中学

校の給食費を無償化する。当町は、給食費の半額助成で、1100万円を予算計上したが、保育料無償化は、400万円程度

でできる。保護者負担金が軽減されるのはよいことだが、少ない額でインパクトのある政策を打ち出せるはずでは。

町長 保育料完全無償化は、県で段階的負担軽減交付金事業を実施しており、国に対しても無償化を要望している。

財政状況を勘案し、早期の完全無償化に向けて努力する。

令和3年度決算額、令和4年度予算額から 推定される保育園運営費の町負担額

公営保育園（現状）		（万円）
運営費		13,923
町負担（100%）		13,923



民営化すると…		（万円）
運営費		13,923
町負担（25%）		3,481
国、県負担（75%）		10,442

町負担額は、
3481万円 - 1億3923万円 = △1億442万円

およそ1億円の経費を節約できる計算になる。

注 現行制度では、公立保育園の運営費は、町が100%負担、民間保育園の運営費は、国が50%、県が25%、町が25%負担。また、実際の保育園運営費は、上記のほかに、保護者からの負担金によってまかなわれている。現状の町負担額には、一部に国から地方交税交付金で算入されている。



少子化進む。早期に検討を！
（大石田保育園入園式）

大石田保育園の行く末

子どもの数が減る中、大石田保育園を民営に移行する必要はある。出生数の現状は。

町長 少子化の影響で、出生数はここ数年20人前後となつている。令和4年度も16人の見込み。

現在の園児数は、大石田保育園37人、民営の保育園も含め、いずれも定員割れだ。現状をどう考える。

町長 保育園のあり方については検討する必要があると考えている。

大石田保育園を民間委託すると、毎年1億円の経費が節約できる。これは園児数が減っても変わらない。保育士の処遇問題もあり、すぐにはできないが、虹のプラザの

じつこ広場や福祉課内への異動で解決できると考えられる。総合職で採用していれば、より早く民間委託ができたのでは。

町長 大石田保育園を民間に委託することについては、町全体の保育園のあり方も含めて、今後、慎重に検討していく。

除排雪費の増額に伴い、 一般会計を追加補正

第1回 臨時会
1/27

- 議案第1号 令和4年度大石田町一般会計補正予算（第5回）
- 3億889万円を増額し、予算総額67億8661万円に
 - ・道路除排雪等業務委託料…約1億4000万円【増額】
 - ・ふるさと応援基金積立金…約1億円【増額】 ほか

全員賛成



国庫補助金の返還額確定に伴い、 一般会計を減額補正

第2回 臨時会
3/28

- 議案第22号 令和4年度大石田町一般会計補正予算（第7回）
- 2億7062万円を減額し、予算総額64億1489万円に
 - ・国への返納金…約6768万円【減額】 ほか
- 議案第23号 一般職の職員の給与に関する条例を一部改正
- 令和5年度から人事交流等で採用する職員への給与の額を調整する。
- 議案第24号 一般職の職員の旅費等に関する条例の一部改正
- 令和5年度から人事交流等で採用する職員の住所の移転に係る旅費を支給する。

全員賛成



人権擁護委員の 推薦

しょうじあきお
東海林明夫さん（二丁目）を
人権擁護委員として推薦する
ことに全員が同意しました。
任期は令和5年7月1日から
3年間です。



自治功労表彰 受賞

この度、齋藤公一議員
が山形県町村議会議長会
から在職23年の表彰を受
けました。

議会を傍聴しませんか

お気軽においでください。（議場は役場3階です）
本会議は、インターネット中継を行います。

◆次回の定例会は

6月6日(火)～
6月12日(月)
の予定です

お問い合わせ先 大石田町役場 議会事務局
電話35-2111（内線311）



表紙のコメント

4月7日（金）、大石田北小の入学式では、14名の新入生
が兼子哲也校長先生から教科書を受け取った。

頼りになる上級生と、優しく教えてくれる先生方に囲まれ、
待ちわびた楽しい小学校生活がスタート。健やかな成長を望
むばかりだ。

【記 岡崎】

大石田を彩ります!

地域おこし協力隊

つちだ ゆきな 土田 徹奈 隊員



(2000年2月4日生まれ 鮭川村出身)

Q 地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけは?

A 自分の好きな“絵を描くこと”を活かして、新しいことにチャレンジしてみたいと思いました。

Q 大石田町に住んでみて。

A 新庄・最上と方言が少し違い、驚きました。

Q 印象に残った活動は?

A マタニティペイントです。他に、チラシ、ロゴも描けます!

Q 今後の展望や抱負をお聞かせください。

A 協力隊として最後の1年。大石田町のことを好きになってくれる人を、一人でも多く増やせるように頑張ります!

Q 町議会へメッセージをお願いします。

A 子どもを産み、育てやすい町にしてください。



議員からのコメント

「大石田町」が好きな子どもたちが増えてほしいと語る土田さん。色鮮やかな活躍を期待したいと思います! 【記 二藤部】

■広報常任委員会

- 委員長 二藤部冬馬
- 副委員長 今野 雅信
- 委員 岡崎 英和
- 委員 村形 昌一
- 委員 芳賀 清

【記 村形】

私も桜咲く春爛漫のこの季節が大好きで、山菜に舌鼓を打ちながら一杯やるのが至福の時です。朝の来ない夜がないように春の来ない冬はない。という言葉がありますが、雪やコロナに耐えてきた我ら大石田町民です。みなさんに幸多かれと願いたくなります。

編集後記

新年度となって新しい生活がはじまった方もいらっしゃるのかと思います。町でも村岡町長が編成した4回目の予算での一年がはじまりました。思えば冬には60cmのドカ雪が3回降ったり、コロナ禍での生活様式も3年も続いたりとした厳しい時もありましたが、季節は移り変わり麗しい春となりました。